



平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 24 年 10 月 24 日

上場会社名 株式会社 植松商会

上場取引所 大

コード番号 9914

URL <http://www.uem-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植松 誠一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 神 郁夫

(TEL) 022(232) 5171

四半期報告書提出予定日 平成 24 年 11 月 2 日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期の業績 (平成 24 年 3 月 21 日～平成 24 年 9 月 20 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期第 2 四半期	2,977	1.6	16	△30.7	45	△6.4	39	△28.4
24 年 3 月期第 2 四半期	2,932	2.2	23	99.6	48	31.4	54	68.3

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 3 月期第 2 四半期	8.44	—
24 年 3 月期第 2 四半期	11.78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 3 月期第 2 四半期	3,709	2,354	63.5
24 年 3 月期	3,981	2,390	60.0

(参考) 自己資本 25 年 3 月期第 2 四半期 2,354 百万円 24 年 3 月期 2,390 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25 年 3 月期	—	0.00			
25 年 3 月期(予想)			—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の業績予想 (平成 24 年 3 月 21 日～平成 25 年 3 月 20 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,000	1.1	46	21.1	95	9.5	86	△8.8	18.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	4,680,000株	24年3月期	4,680,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	45,775株	24年3月期	45,528株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,634,449株	24年3月期2Q	4,635,046株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり緩やかな回復基調が続く一方、円高の長期化や欧州での債務危機による景気低迷、中国やアジア新興国経済の成長鈍化等により、先行き不透明な状況で推移しました。

当機械工具業界におきましては、エコカー補助金や拡大するスマートフォン市場を背景として、自動車関連業界やIT関連業界が牽引する形で、堅調に推移してまいりましたが、9月のエコカー補助金の打ち切りや継続する円高株安の影響もあり、先行きとして自動車、工作機械向けを中心に機械工具販売は鈍化の様相を呈しています。

当社を取り巻く環境としては、震災復興が遅々として進まない中にあり、厳しい経営環境にあるものの、当社としての復興支援を果たすべく、期初に被災地である宮城県石巻市への再出店を致しましたほか、各被災地ユーザーへの支援を継続してまいりました。

こうした中にあり当社としては、期初方針どおり全社的な新規ユーザーの発掘継続や昨年進出した首都圏での営業基盤の強化にも鋭意努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては2,977百万円（前年同期比1.6%増）となりました。一方、利益につきましては、営業利益16百万円（前年同期比30.7%減）、経常利益45百万円（前年同期比6.4%減）、四半期純利益39百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は、3,709百万円となり、前事業年度末に比べ、272百万円減少しました。この主な要因は、流動資産で、現金及び預金が投資有価証券の取得等により198百万円、受取手形及び売掛金が132百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は、1,354百万円となり、前事業年度末に比べ、236百万円減少しました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金が179百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は、2,354百万円となり、前事業年度末に比べ、36百万円減少しました。主な要因は、四半期純利益39百万円を計上しましたが、その他有価証券評価差額金が51百万円減少したことによるものであります。

なお、当四半期会計期間末における自己資本比率は63.5%となり、前事業年度末に比べ、3.5ポイント上昇しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ198百万円減少し、319百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、28百万円（前年同期比228.0%増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益43百万円の計上と売上債権の減少額132百万円の増加要因がありましたものの、仕入債務の減少額179百万円等の支出が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、143百万円（前年同四半期は84百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出127百万円、有形固定資産の取得による支出27百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、26百万円（前年同期比403.3%増）となりました。これは、配当金の支払額23百万円と、ファイナンス・リース債務の返済による支出3百万円によるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期予想につきましては、現時点では、平成24年4月27日の決算発表時に公表いたしました業績予想からの変更は有りません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（3）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の修正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	518,952	320,459
受取手形及び売掛金	2,054,078	1,921,844
有価証券	100,353	100,000
商品	197,396	174,522
その他	20,962	20,383
貸倒引当金	△4,970	△3,380
流動資産合計	2,886,774	2,533,831
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	127,177	146,368
土地	210,555	191,927
その他(純額)	19,980	19,338
有形固定資産合計	357,714	357,634
無形固定資産		
投資その他の資産	8,958	8,342
投資有価証券	611,547	684,945
その他	128,749	133,930
貸倒引当金	△11,983	△9,408
投資その他の資産合計	728,313	809,467
固定資産合計	1,094,985	1,175,444
資産合計	3,981,759	3,709,275
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,320,032	1,140,243
未払法人税等	11,923	7,598
賞与引当金	18,000	18,460
役員賞与引当金	9,500	4,750
災害損失引当金	6,733	—
その他	113,477	79,047
流動負債合計	1,479,667	1,250,100
固定負債		
退職給付引当金	44,165	39,711
役員退職慰労引当金	50,400	52,450
その他	16,912	12,435
固定負債合計	111,477	104,597
負債合計	1,591,144	1,354,697

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,550	1,017,550
資本剰余金	1,174,661	1,174,661
利益剰余金	206,130	222,048
自己株式	△7,040	△7,101
株主資本合計	2,391,301	2,407,158
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△686	△52,580
評価・換算差額等合計	△686	△52,580
純資産合計	2,390,614	2,354,577
負債純資産合計	3,981,759	3,709,275

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
売上高	2,932,100	2,977,822
売上原価	2,538,136	2,582,057
売上総利益	393,964	395,765
販売費及び一般管理費	370,760	379,693
営業利益	23,204	16,072
営業外収益		
仕入割引	19,498	20,844
その他	9,099	9,916
営業外収益合計	28,597	30,761
営業外費用		
支払利息	1,602	1,205
その他	2,060	564
営業外費用合計	3,662	1,770
経常利益	48,139	45,063
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,849	—
災害見舞金受取額	8,801	—
特別利益合計	15,650	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,670
投資有価証券評価損	1,474	—
災害見舞金等	3,897	—
特別損失合計	5,371	1,670
税引前四半期純利益	58,418	43,393
法人税、住民税及び事業税	3,822	4,302
法人税等合計	3,822	4,302
四半期純利益	54,596	39,090

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	58,418	43,393
減価償却費	8,065	9,108
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,100	460
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,750	△4,750
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△6,573	△6,733
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△18,347	△4,453
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,500	2,050
投資有価証券評価損益(△は益)	1,474	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,841	△4,165
受取利息及び受取配当金	△6,491	△6,344
支払利息	1,602	1,205
災害見舞金受取額	△8,801	—
災害見舞金等	3,897	—
売上債権の増減額(△は増加)	△53,985	132,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	34,125	22,873
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,195	△179,789
その他	11,918	△30,151
小計	△10,384	△25,060
利息及び配当金の受取額	6,529	7,214
利息の支払額	△1,602	△1,205
災害見舞金等の支払額	△3,897	—
災害見舞金の受取額	8,801	—
法人税等の支払額	△8,029	△9,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,583	△28,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の償還による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△3,100	△27,389
投資有価証券の取得による支出	△5,604	△127,315
貸付けによる支出	△4,489	△1,600
貸付金の回収による収入	2,680	3,279
その他	△4,913	9,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	84,572	△143,684
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△121	△60
配当金の支払額	—	△23,172
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,174	△3,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,295	△26,654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70,694	△198,492
現金及び現金同等物の期首残高	407,836	518,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	478,530	319,878

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、機械、工具及び産業機械・器具等の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。